

東京慈恵会医科大学医学部医学科 外部評価報告を受けて

本学が2014年6月に受審した「医学教育分野別評価基準日本版に基づく外部評価」の報告書が届きましたので、公開いたします。この外部評価は、東京医科歯科大学を代表校とし、東京女子医科大学、東京大学、千葉大学、新潟大学、本学が連携校となった平成24年度文部科学省の補助事業「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」の一環として行われたものです。本補助事業における外部評価トライアルは、2012年に東京女子医科大学、2013年には新潟大学医学部、2014年に東京医科歯科大学、本学、千葉大学の順で実施されました。2015年2月には東京大学が受審する予定です。これらをもとにして医学教育の認証制度が整備され、全国の医学部、医科大学が順次外部評価を受けることとなります。本学では今回のトライアルに対して、教学委員会が中心となって2014年3月に医学教育自己点検評価報告書を作成し、それをもとに同年6月2日から6日にかけて10名の外部評価委員会による外部評価を受けました。講評では、本学の教育の優れたところを「～を高く評価する」「～を評価する」と具体的にいくつも挙げていただいた一方、「～すべきである」「～が望まれる」を使い分けて多くの改善の道を示していただきました。特に、学生評価の多様化と公正性の確保、教員評価については教育活動実績に基づく適切な処遇、客観的データに基づく教育改革の遂行などは重要な指摘だと認識しております。

教学委員会には、今回の指摘に沿った改善の取り組みをお願いしております。しかし、外部の目から見た自学の姿を一部の教職員のものだけにしておくのは、あまりにももったいないことです。自学の強み・弱みを十分認識し、それを活かして不確実な未来の医学、医療、さらに社会を担う人材をどう育てるのか、私たち一人ひとりが考えていきたいと思えます。

最後に、外部評価を担当された外部評価委員の方々にお礼申し上げるとともに、長期間かけて綿密に自己点検評価を進めてきた本学教職員各位に最大の敬意を表します。

平成27年1月
東京慈恵会医科大学
学長 松藤 千弥